

第1回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 2日(火) 19時 ~ 20時		
市町村名	松川村	グループ名	3班
要旨			
県を交えた意見交換会か。調査は何年後を見据えて事業を行っているのか。開発による自然破壊が懸念される。扇状地の保護も視野に入れてほしい。(特に西山方面)			
グループとしての課題を持ったらどうか。			
いろんな観点からの意見交換が望ましいのでは。			
いろんな観点から行けばいい。			
安曇野の自然を大事にしてもらいたい。大気汚染と塩カル等の被害は甚大			
構想にはメリットがあるのかどうか。デメリットについては明白である。投入される建設費には県民としても非常に多い借金を抱えることになってしまうのでは。			
県道、村道でも改修してほしい箇所さえ行っていない現状でこの高規格道路を作って維持管理はどうなるのか。新しい道路による旧道の管理はどうなっているのか。この道の協議会に村として負担金は払っているのか。			
以上のことは調べて後日、回答。			
直接、道路を通る住人の意見を聞くべき。			
村の自然保護計画と県との構想の相違、村議会としては調査区間の返上を決定した。			
扇状地として役割を壊してしまうのではないかと。その点で掘削した道路は無理ではないか。また作るにしても北から建設してはどうか。			
北の小谷はトンネルしか通せないが建設費は莫大である。			
道路の是非について検討したい。			
現在の状況から議論すべきでない。			
構想する道路は少子化等も考えに入れ、もう一度考え直すべきである。			
必要性が最も大事ではないか、田園風景は残した方がよい。環境への影響も十分ある。断層との絡みも考慮すべき。			
景観を大事にすべき。将来を見据えた構想をした方がよい。			
新潟の道路との利便性の差があり既存の大型道路の改良で良い道が出来るのでは。			
環境破壊によるリカバリーへの費用も大きい。			
村としての意見が一番大事ではないか。			